

公立大学法人福岡県立大学

I 全体評価

平成18年度に法人化した公立大学法人福岡県立大学は、理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めてきたところである。

福岡県立大学は、平成24年度から第2期中期目標期間（平成24年4月1日から平成30年3月31日まで）に入り、5事業年度目を迎えたところであるが、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、人間社会学部と看護学部の連携のもと、関連する分野に関する幅広い視野を持ち、保健・医療・福祉の現場で中核となって活躍できる資質を持った優秀な職業人を育成することを最も重要な使命としている。

平成28年度の評価にあたっては、前年度評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、第2期中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目6項目中全て（教育、研究、社会貢献、業務運営、財務、評価及び情報公開）について「順調に進んでいる」と評定した。

また、中期目標に掲げている重点事項については、不登校・ひきこもりサポートセンターでの相談・支援事業、学習ボランティアの派遣等、社会貢献活動を積極的に実施するなど着実に取り組んでいる。

以上のことを踏まえ、公立大学法人福岡県立大学の平成28年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としては順調に進捗していると認められる。

福岡県立大学は、これまでに地域と連携した取組で着実な成果をあげてきている。

今後とも地域との連携のもと社会貢献活動等に積極的に取り組むとともに、大学の理念の実現を目指して、教育研究をはじめとした業務の充実・改善に向けた取組を更に推進されることを期待する。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

教育については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

(1) 教養教育の充実

- ・グローバル化へ対応するため、新たな科目の開設を進めるとともに、教養演習

英語クラスを開講するなど、語学教育の充実に取り組んでいる。

(2) 専門教育の充実

- ・ 中長期・実践型インターンシップとして他大学と連携プログラムを実施するとともに、文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」の連携大学との単位互換や合同短期研修を実施するなど、大学間の相互連携による教育の充実を図っている。

(3) 教育効果を検証するシステムの構築

- ・ 就職率が過去最高を達成するとともに、保健師、精神保健福祉士等の各種国家試験合格率が、高水準を維持している。

(4) 教員の教育能力の向上

- ・ 教員間の授業参観や公開授業を実施するとともに、学生の意見を聴取する機会を作るなど、ファカルティ・ディベロップメントの推進に努めている。

(5) 優秀な学生の確保

- ・ オープンキャンパスの開催や入試説明会への参加、SNSを活用した情報発信等、入試広報活動に取り組み、志願倍率が高水準を維持している。
- ・ 意欲ある学生を確保するため、小論文試験問題と面接問題及び出題意図を取りまとめた冊子を作成し、高校生等に配布している。

(6) 学生支援の充実

- ・ 系統的キャリア形成支援講座や段階的インターンシップ・プログラムなど、きめ細かなキャリア形成支援に努めるとともに、GPA制度を活用した個別指導を行っている。
- ・ 熊本地震の被災者等を支援するため、授業料の減免等を行うとともに、入学金免除等の特別措置を整備した。

(7) 学習環境の充実

- ・ 図書館の情報端末を充実するとともに、学生選書ツアーを開催するなど、学生が利用しやすい環境づくりを進め、ラーニングコモンズ利用者数や開館延長時間内の利用者数が目標を上回った。

(8) 人間社会学部の改革

- ・ 3つの全学横断型教育プログラム（援助力養成プログラム、国際交流プログラム、キャリア形成支援プログラム）のカリキュラムを充実するとともに、保健福祉情報教育プログラムを開設した。
- ・ 国際交流プログラムに新たに設定した4年間で卒業が可能な留学コースを利用

して、学生が長期留学した。

(9) 両学部連携の大学院博士課程の新設

- ・改革推進会議で議論を行った。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

研究については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・科学研究費補助金の応募率及び獲得件数が目標を上回るなど、外部研究資金獲得を積極的に進めている。
- ・厚生労働科学研究に関わる利益相反について、外部有識者を入れた審査体制を整備し、透明性を確保して審査を行った。

3 社会貢献

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

社会貢献については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・地域・国際交流コーディネーター及び国際交流チューターの配置や、中国の大学との新たな学術交流協定の締結など、国際交流を推進するとともに、受入留学生数が目標を上回った。
- ・不登校・ひきこもりサポートセンターにおいて、サポーター派遣人数や登校開始率が過去最高を達成するなど、不登校・ひきこもり対策を積極的に行っていることを評価する。
- ・地域教育支援プロジェクト「土曜の風」を開始し、地域の補充学習の場に学生を学習ボランティアとして派遣した回数が計画を大きく上回るなど、学生の社会貢献・ボランティア活動を積極的に支援していることを評価する。
- ・看護実践教育センターにおいて、糖尿病に関するリカレント教育などを実施するとともに、糖尿病看護認定看護師の認定審査合格率が引き続き100%となった。

4 業務運営

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

業務運営については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・事務局機能の強化に向けて、大学改革セミナーを実施するとともに、外部研修会への職員派遣を行った。

5 財務

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

財務については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得に努めている。
- ・週休日の振替を徹底するなど、時間外勤務が前年度より縮減された。

6 評価及び情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

評価及び情報公開については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・大学ホームページ等で教育研究情報を適切に公開するとともに、ホームページのリニューアルを行うなど、広報活動の充実を図った。